

8.7 エコマテリアル

8.7.1 調査事項

調査事項は、表 8.7-1 に示すとおりである。

表 8.7-1 調査事項

区 分	調査事項
調査した事項	・エコマテリアルの利用状況等
調査条件の状況	・環境物品等調達方針
ミティゲーションの実施状況	・建設資材についてエコマテリアルの適用品目があるものについては、適用品目を利用するよう努める計画とする。 ・今後、開発・実用化される素材についても、積極的に利用を努める計画とする。

8.7.2 調査地域

調査地域は、計画地内とした。

8.7.3 調査手法

調査手法は、表 8.7-2 に示すとおりである。

表 8.7-2 調査手法

調査事項		エコマテリアルの利用状況等
調査時点		工事の施工中（平成26年2月～平成29年3月）とした。
調査期間	調査した事項	工事の施工中（平成26年2月～平成29年3月）の適宜とした。
	調査条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査地点	調査した事項	計画地内とした。
	調査条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	調査した事項	関連資料の整理による方法とした。
	調査条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	

8.7.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 調査した事項及び調査条件の状況

ア. エコマテリアルの利用状況等

本事業における、エコマテリアルの利用状況は表 8.7-3～表 8.7-4 に示すとおりである。建設工事に当たっては、「平成 25 年度東京都環境物品等調達方針」（平成 25 年 6 月 東京都）に基づき、建設資材等の環境物品の調達を行った。

表 8.7-3 エコマテリアルの利用状況（特定調達品目）

品目分類	品目名	単位	数量
コンクリート及びコンクリート製品	透水性コンクリート 2 次製品	個	345.0
園芸資材	下水汚泥を使用した汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）	kg	2,552.0
タイル	陶磁器質タイル	m ²	82,662.9
建具	断熱サッシ・ドア	工事数	1
フローリング	フローリング	m ²	7,182.0
ビニル系床材	ビニル系床材	m ²	7,535.8
コンクリート用型枠	合成型枠	m ²	104,833.0
建設機械	排出ガス対策型建設機械	工事数	1
	低騒音型建設機械	工事数	1
山留め工法	泥土低減型ソイルセメント柱列壁工法	工事数	1
舗装	透水性舗装	m ²	472.0

表 8.7-4 エコマテリアルの利用状況（特別品目）

品目分類	品目名	単位	数量	
			特別品目	類似品目
建設発生土の有効利用を図るもの	建設発生土	m ³	172,376.3	0.0
	普通土（再利用センターストック土、青梅事業所ストック土）	m ³	870.0	0.0
建設発生木材の有効利用を図るもの	再生木質ボード類	m ²	7,291.6	0.0
熱帯雨林材等の使用を抑制するもの	環境配慮型型枠（複合合板型枠等）	m ²	0.0	5,915.9
コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊等の有効利用を図るもの	再生クラッシュラン	m ³	3,281.5	0.0
	再生粒度調整砕石	m ³	207.0	0.0
	再生砂	m ³	276.5	0.0
	再生加熱アスファルト混合物	t	182.8	0.0
	再生骨材を用いた均し（捨て）コンクリート等（均しコンクリート、捨てコンクリート、裏込めコンクリート等）	m ³	157.0	0.0
廃棄物処理に伴う副産物の有効利用を図るもの	エコセメントを用いたコンクリート二次製品	個	10,792.0	0.0
都内の森林再生のため多摩産材の有効利用を図るもの	多摩産材を用いた建築材料	m ³	28.0	0.0
温室効果ガスの削減を図るもの	ノンフロン断熱材	工事数	1	0

2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.7-5 に示すとおりである。

表 8.7-5 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・建設資材についてエコマテリアルの適用品目があるものについては、適用品目を利用するよう努める計画とする。	工事の実施に当たっては、平成25年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）（東京都）に基づき資材等の選定に努めた。
・今後、開発・実用化される素材についても、積極的に利用を努める計画とする。	工事の実施に当たっては、平成25年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）（東京都）に基づく資材を調達した。